

第 13 回理事会

10月20日 午後5時～7時30分

木下会長、吉本・小田副会長、杉山専務理事、濱本・西村・弘山・田中(義)・萬・田中(豊)各常任理事、田村・河村・茶川・山縣・林各理事、山本・武内・藤野各監事

1 地域医療再生臨時特例交付金の内示等について

県地域医療推進室から、地域医療再生基金配分額内示に伴う実施事業の概要について説明があった。各県共通の基礎額部分 15 億円は決定しているが、加算要望額 5 億円に対し、国の内示額を受けて、県は加算額で実施する事業を「地域医療連携情報システムのモデル導入事業」とする旨の概要説明があり、今後のスケジュール案が示された。

2 新公益法人移行対策について

日本医師会定款・諸規程改定検討委員会において定款変更案が変更されたため、当会の対応について協議した。

3 第 167 回定例代議員会質問について

質問 1 題について協議した。

4 国民健康保険におけるジェネリック医薬品差額通知について

山口県医務保険課から、被保険者へのジェネリック医薬品差額通知の導入にあたり、通知案について意見を求められていたが、郡市医師会からの要望等を盛り込んだ通知案になったことで、差額通知の導入に合意した。今後は同通知案を基に、各市町と各郡市医師会が最終調整を行うこととなる。

5 山口県医師互助会事業廃止に伴う関連事業の見直しについて

今年度末をもって互助会事業を廃止することから、関連する県医師会福利厚生事業、医師国保組合事業、代替保険制度について協議した。

6 TPP 交渉参加反対運動に関する意見広告への賛同について

山口県農業協同組合中央会より、「TPP 交渉参加断固反対」に向けた消費者への理解促進の取り組みとして主要新聞に意見広告を出稿する予定であり、賛同を得て名義利用したい旨の要請があり協議、了承することとなった。

7 平成 23 年度学校保健連合会表彰について

県学校保健連合会から推薦依頼があり、本会から候補者 1 名を決めた。

8 山口県報道懇話会との懇談会について

10 月 26 日開催予定、懇談会のテーマについて協議した。

9 ファミリーサポートセンター活動強化支援事業「活動ガイドブック」作成に係る監修協力について

山口県商工労働部労働政策課より、ファミリーサポートセンター会員の活動に資するものとして「活動ガイドブック」の作成を計画、医療分野の原稿作成への協力依頼があり、了承することとなった。

10 「県民の健康と医療を考える会」の開催について

「日本の医療を守るための国民運動」の一環として「県民の健康と医療を考える会」を開催し、受診時定額負担の導入及び医療の営利産業化反対の決議をし、関係機関に要請活動をすることについて協議した。

11 季節性インフルエンザワクチンの安定供給について

ワクチンの供給量の見込みについての県通知を受け、地域や医療機関による偏在が生じないように各郡市医師会長に協力依頼文を送付することを了承。

12 第 122 回生涯研修セミナーでの講師謝礼について

現行基準によることとした。

人事事項

1 山口県健康福祉財団の公益財団法人移行後の最初の理事の推薦について

事務局長に決定。

2 (財)やまぐち角膜・腎臓等複合バンクの役員就任について

評議員に会長、理事に副会長を推薦することに決定。

報告事項

1 郡市医師会介護保険担当理事協議会（9 月 22 日）

介護職員によるたんの吸引等の実施について及びサービス付き高齢者向け住宅整備事業等について協議を行った。（河村）

2 第3回山口県糖尿病療養指導士講習会

(10月2日)

山大医学部で3回目を開催。受講者217名。(田中豊)

3 山口県医師臨床研修推進センター事業選考委員会(10月6日)

指導医・後期研修医等国内外研修助成事業2件、国内外からの指導医招へい事業1件について助成を決定した。(茶川)

4 郡市医師会学校保健担当理事協議会(10月6日)

「学校医活動記録手帳(仮称)」の作成及び活用方法、園医・学校医名簿の進捗状況、また脊柱側弯の問診票などについて協議した。(茶川)

5 第33回産業保健活動推進全国会議(10月6日)

メンタルヘルス対策について3県から報告ののち、「メンタルヘルス対策支援センター、産業保健推進センター、地域産業保健センターの現状と今後のあり方」について、厚労省労働衛生課長椎葉茂樹氏の講演後、協議が行われた。(河村)

6 日本スポーツ振興センター広島支所業務運営委員会(10月6日)

震災関係による弔慰金などによる運営状況報告、学校設置のAEDの活用状況など協議した。(田中豊)

7 日医男女共同参画委員会(10月7日)

女性医師支援センター事業、男女共同参画フォーラム、答申作成に向けた議論を行った(田村)

8 勤務医部会第3回企画委員会(10月13日)

2月12日開催予定の勤務医部会主催シンポジウム、「開業医のアンケート調査」の調査状況、その他の本年度事業について協議した。(茶川)

9 郡市医師会産業保健担当理事協議会(10月13日)

県医主催(郡市医師会協力)による産業医研修会の来年度の対応について、郡市医師会に対する調査時期を来年1月に実施、3月までに本会に報告し、年度始めに講師等調整することを決めた。

(河村)

10 第 55 回社会保険指導者講習会 (10 月 13・14 日)

「画像診断 update-検査の組み立てから診断まで」を主題に日本医師会館において開催され、本会から 5 名の担当役員が参加した。詳細は会報に掲載予定。
(萬)

11 病院勤務医懇談会 (10 月 14 日)

萩市民病院において、米澤院長ほか 9 名、萩市医師会八木田会長、県医師会役員等により意見交換を行った。(田中豊)

12 5 歳児発達相談研修会 (10 月 14 日)

山口県小児科医会と共催で開催。「5 歳児モデル健診事業から京都府年中発達サポート事業へ」というタイトルで、5 歳児発達相談の体制づくりから事後フォローについて、京都府中丹東保健所所長の弓削マリ子先生の講演があり、園医、保育士、行政等 142 名の参加があった。(茶川)

13 第 20 回山口県西部医学会 (10 月 15 日)

一般演題 18 題と山口大学医学部附属病院の松井邦彦総合診療部長による特別講演「地域の医療機関と大学病院総合診療部門の関わり」が行われた。(木下、吉本)

14 光市立光総合病院創立 60 周年記念式典
(10 月 15 日)

会長代理で祝辞を述べた。(杉山)

15 勤務医部会座談会 (10 月 16 日)

「山口県に勤務医を増やすには? ~ 後期研修で山口県に定着させる方法 ~」をテーマに座談会を行った。(茶川)

16 第 3 回山口県肝疾患診療提携協議会 (10 月 18 日)

肝炎治療特別促進事業の助成対象医療の追加、肝疾患センターの活動など報告があった。(木下)

互助会理事会 第 9 回

1 第 3 回支部長会について (10 月 13 日)

改正保険業法の一部改正により、新公益法人制度への移行後はこの法による規制に対応できないため、事業の廃止、会則の改正、平成 23 年度補正予算（会費の還付のため）について審議され、承認された。

2 傷病見舞金の支給申請について

1 件について協議、承認。

医師国保理事会 第 11 回

1 全協理事長・役員研修会について（9月29日）

厚労省濱谷浩樹国保課長による「国保組合を巡る現状と課題」、時事通信社田崎史郎解説委員による「これからの政局について」と題した講演等があった。（田中豊）

2 全医連第 49 回全体協議会について（10月7日）

京都府医師国保組合の担当で開催。まず、代表者会で全体協議会の運営等について議決し、全体協議会では、平成 22 年度事業報告及び決算等の報告や決議（案）が採択された。

つづいて、慶應義塾大学大学院経営管理研究科田中 滋教授の「社会保障改革と健康保険制度」と題した講演と京都大学松本 紘総長による「人間はどこに向かうのか？-三次元文明の必然性と宇宙太陽光発電所-」と題した特別講演があった。

（木下、濱本、田中豊）